

新潟県長岡市

【3期計画：平成31年4月～平成36年3月】

- ・本市は、新潟県のほぼ中央、大河信濃川に沿って開かれた広大な新潟平野の南端に位置する中越地方の中核都市である。本市の中心市街地は、江戸時代はじめの長岡城の築城とともに形成された場所であり、古くから城下町として発展してきた。
- ・人口272,016人(H30年4月住民基本台帳)、面積891.06km²

【前期計画(平成26年4月～平成31年3月)の概要】

○アオーレ長岡における日常的なイベントのほか、大手通表町西地区第一種市街地再開発事業(H28)等により、歩行者通行量が増加し、まちなか公共・公益施設の利用人数も増加傾向。

○「大手通表町西地区第一種市街地再開発事業」など、各種事業により転入者が増えたものの、生活の場としてのまちなかの魅力が十分に発現されず、転出者が一定数発生。

【中心市街地の課題等】

○密度の高い賑わいを生み出し、回遊の拡がりを創る

新たな賑わいを創り出すとともに、民間が中心市街地に投資したくなるような魅力を高めることで、賑わいの密度を高め、回遊の拡がりを創ることが必要。

○産業を育成する力、産業が集積する力を高める

多くの情報が集まる中心市街地の強みを活かして、多様な産業を育成し集積させ、中越地域の経済・産業の拠点としての輝きを取り戻すことが必要。

○若者が集い、活躍できる環境を創る

将来を担う若者が中心市街地に魅力を感じ、集い、活躍できる環境の整備・充実を図っていくことが必要。

【目指す中心市街地の都市像】

みんなが創るまちなかの価値

～誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち～

【前計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値 ※()は目標値の達成見込
まちに「来る人」を増やす	歩行者通行量 (平日13時間歩行者通行量の合計値)	95,033人/日 (H25)	100,000人/日 (H30)	104,353人/日 (H29:達成)
まちに「住む人」を増やす	まちなか居住人口	5,677人(H25)	5,900人(H30)	5,577人 (H29:未達成)
まちを「使う人」を増やす	まちなか公共・公益施設の利用者人数	1,500,000人 (H24)	1,600,000人 (H30)	1,461,394人 (H29:達成見込み)

【新計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値
まちを「歩く人」を増やす	大手通交差点より西側の歩行者・自転車通行量 (平日:8地点13時間)	25,574人/日 (H29)	26,890人/日 (H35)
まちで「起業する人」を増やす	中心市街地内の起業数	25件/5年 (H26年度～H29年度の平均×5年)	40件/5年 (H31～H35)
まちに「集う若者」を増やす	まちなか居住人口 (30代以下人口)	1,551人 (H29)	1,620人 (H35)
	学生限定のバスサービス利用者数	78,881人 (H29.4～H30.3)	82,000人 (H35)

まちを「歩く人」を増やす

【主要事業】

- ・大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業
- ・米百俵らいぶらりー(仮称)整備事業
- ・米百俵広場(仮称)整備事業
- ・NaDeC BASE活用事業
- ・歩道活用オープンカフェ事業

など

まちで「起業する人」を増やす

【主要事業】

- ・NaDeC構想先行実施事業
- ・起業チャプリン・チャレンジショップ(仮称)事業
- ・学生起業家創出モデル事業
- ・NaDeC BASE活用事業
- ・長岡リノベーションまちづくり事業

など

まちに「集う若者」を増やす

【主要事業】

- ・大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業
- ・学生のまち居場所づくり推進事業
- ・NaDeC構想先行実施事業
- ・NaDeC BASE活用事業
- ・学生交流「ちょい乗りバス券」実証実験事業

など

長岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要

まちを「歩く人」を増やす

①大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業

金融機関や商工会議所などの機能、民間のアイデアと資金力を積極的に活用した物販や飲食等の商業・業務機能を導入するほか、当該事業の中で行われる「米百俵らいぶらりー(仮称)整備事業」や「米百俵広場(仮称)整備事業」なども主要事業として位置づけ、当該地区に多様な賑わいを生む機能の導入を図り、まちなかの回遊性を高める。



②歩道活用オープンカフェ事業

中心市街地内の歩道を活用し、オープンカフェを実施して賑わいの創出を図る。



まちで「起業する人」を増やす

③長岡リノベーションまちづくり事業

民間事業者などが建物の更新、空き店舗等の活用の際し、リノベーションを実施するための支援を行い、事業所や店舗の立地を促進する。

④起業チャプリン・チャレンジショップ(仮称)事業
起業を目指す若者を募り、様々な業種によるポップアウト店をとおして、同じ志を持つ若者同士のつながりや連携を創出する。



中心市街地地域：約96.3ha

中心市街地人口：5,577人(平成30年3月)



まちに「集う若者」を増やす

⑤学生のまち居場所づくり推進事業
柳原旧庁舎跡地を活用し、若者が居住できる環境を整備し、中心市街地で活躍するための生活拠点の形成を図る。

⑥NaDeC構想先行実施事業
3大学1高専との連携による「長岡版イノベーション」の実現に向け、学生の活動拠点となる環境を整備する。

⑦NaDeC BASE活用事業
日常的に若者が集い交流が生まれるコミュニティスペースを中心市街地に設置し、まちで活動し活躍する若者を増やす。



コミュニティスペースを中心市街地に設置し、まちで活動し活躍する若者を増やす。

⑧学生交流「ちょい乗りバス券」実証実験事業

中心市街地から離れた場所に立地する市内の大学等と中心市街地を結ぶバスを、学生限定割引運賃で乗車できるようにすることで、若者の中心市街地への来街を促し、活動し、活躍する若者を増やす。

